

「阪神・淡路大震災から 30 年」

主催：公益社団法人土木学会関西支部

共催：大阪工業大学

公益社団法人地盤工学会関西支部

2025 年 1 月 17 日で阪神・淡路大震災の発生から 30 年となります。土木工学やライフラインに関係する産官学の各団体は、防災・減災や復興にかかわる事業、研究に取り組み、社会への貢献を進めてきました。阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎えるにあたり、『災害から学び得たこと』『新しい技術を活用した未来の災害対策』についての講演を行います。皆様のご来場をお待ちしております。

●日 時 2024 年 12 月 13 日(金)

13:00~17:00(開場 12:00)

●会 場 常翔ホール(大阪市北区茶屋町 1-45)

大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー

JR「大阪」駅から徒歩 5 分

●定 員 550 名(先着順)

●参加費 無料

●申込方法 土木学会関西支部のホームページ

<https://www.jsce-kansai.net/>

QR コードからお申し込みください。

●問 合 先 土木学会関西支部「阪神・淡路大震災から 30 年」係

Tel 06-6271-6686



●パネル等の展示(13:00~17:00)

- ・鋼橋の耐震技術の変遷【一般社団法人日本橋梁建設協会】
- ・各地の震災遺構・震災伝承施設
- ・美味しく、便利な備蓄食品

●プログラム

13:00-13:05 開会挨拶

青木伸一((公社)土木学会関西支部 支部長)

13:05-14:00 過去の地震被害を教訓とした耐震技術の変遷

高橋良和(京都大学大学院工学研究科)

14:00-14:50 災害に備える【災害協定関西地区連絡会から】

小池信司(神戸市建設局)

阿部 俊(NTT インフラネット(株)関西事業部)

14:50-15:00 休憩

15:00-16:00 未来の災害対応を考える【ビッグピクチャー『災害』の発表】

シビルアカデミー第 2 期生

16:00-16:55 デジタルツインと防災

飯塚 敦(中央大学研究開発機構)

16:55-17:00 閉会挨拶

木村博規((公社)地盤工学会関西支部 支部長)

※都合により講師や順序などに変更の生じる場合がございますので予めご了承ください